

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成 19 年 7 月 12 日 (2007.7.12)

【公表番号】特表 2003-501022 (P2003-501022A)

【公表日】平成 15 年 1 月 14 日 (2003.1.14)

【出願番号】特願 2001-500744 (P2001-500744)

【国際特許分類】

**C 1 2 N 15/09 (2006.01)**

**C 0 7 K 14/47 (2006.01)**

**C 1 2 Q 1/02 (2006.01)**

**G 0 1 N 33/15 (2006.01)**

**G 0 1 N 33/50 (2006.01)**

**G 0 1 N 33/566 (2006.01)**

**C 1 2 N 5/10 (2006.01)**

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 0 7 K 14/47

C 1 2 Q 1/02

G 0 1 N 33/15 Z

G 0 1 N 33/50 Z

G 0 1 N 33/566

C 1 2 N 5/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 5 月 25 日 (2007.5.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 配列番号：14 に記載されたアミノ酸配列を含む単離ポリペプチド。

【請求項 2】 配列番号：14 の残基 23 ないし 502 を含む単離ポリペプチド。

【請求項 3】 配列番号：14 に記載されたアミノ酸配列を含む単離ポリペプチドであって：

(1) 230 位におけるプロリン残基がグリシン、アラニン、イソロイシン、ロイシンおよびバリンよりなる群から選択されるアミノ酸残基で置換されているか、または 241 位におけるセリン残基がスレオニン、メチオニン、アスパラギン、グルタミン、およびチロシンよりなる群から選択されるアミノ酸残基で置換されており；あるいは

(2) 230 位におけるプロリン残基がグリシン、アラニン、イソロイシン、ロイシンおよびバリンよりなる群から選択されるアミノ酸残基で置換されており、かつ 241 位におけるセリン残基がスレオニン、メチオニン、アスパラギン、グルタミン、およびチロシンよりなる群から選択されるアミノ酸残基で置換されている単離ポリペプチド。

【請求項 4】 請求項 2 記載の単離ポリペプチドの残基 23 ないし 502 を含む単離ポリペプチド。

【請求項 5】 請求項 1 ないし 4 いずれか 1 記載のポリペプチドをコードする単離ポリヌクレオチド、またはその相補体。

【請求項 6】 請求項 5 記載のポリヌクレオチドを含む発現ベクター。

【請求項 7】 請求項 6 記載のベクターを含む宿主細胞。